

平成25年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査〔確定値〕 調査結果の概要2（公立学校分）

目 次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会）	・・・ 8
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 15
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 24
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 33
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 37
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 38
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 39

* 中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む

平成26年10月

神奈川県教育委員会

1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

(1 - 1)暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	学校内				学校外				計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	857	316	36.9	2,331	1,468	89	10.4	187	209	2,518	1,677
中学校	416	350	84.1	4,128	3,065	132	31.7	295	378	4,423	3,443
高等学校	161	125	77.6	418	454	22	13.7	31	57	449	511
計	1,434	791	55.2	6,877	4,987	243	16.9	513	644	7,390	5,631

イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害教師 数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	857	124	14.5	519	38	197	277	3	0.4	5	2	4	4	524	40
中学校	416	198	47.6	550	139	439	488	2	0.5	2	1	3	4	552	140
高等学校	161	30	18.6	39	1	43	38	1	0.6	1	0	1	0	40	1
計	1,434	352	24.5	1,108	178	679	803	6	0.4	8	3	8	8	1,116	181

ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害児童・ 生徒数(人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	857	249	29.1	1,384	172	1,116	1,155	88	10.3	181	16	208	203	1,565	188
中学校	416	318	76.4	2,350	496	2,308	2,155	117	28.1	252	88	348	230	2,602	584
高等学校	161	94	58.4	226	28	291	224	20	12.4	26	14	53	26	252	42
計	1,434	661	46.1	3,960	696	3,715	3,534	225	15.7	459	118	609	459	4,419	814

エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						計	
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童・ 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数(件)	
				病院						病院				病院	
小学校	857	9	1.1	18	2	10	12	1	0.1	1	0	2	1	19	2
中学校	416	9	2.2	19	6	19	25	32	7.7	41	16	74	45	60	22
高等学校	161	3	1.9	4	4	4	4	2	1.2	4	2	6	6	8	6
計	1,434	21	1.5	41	12	33	41	35	2.4	46	18	82	52	87	30

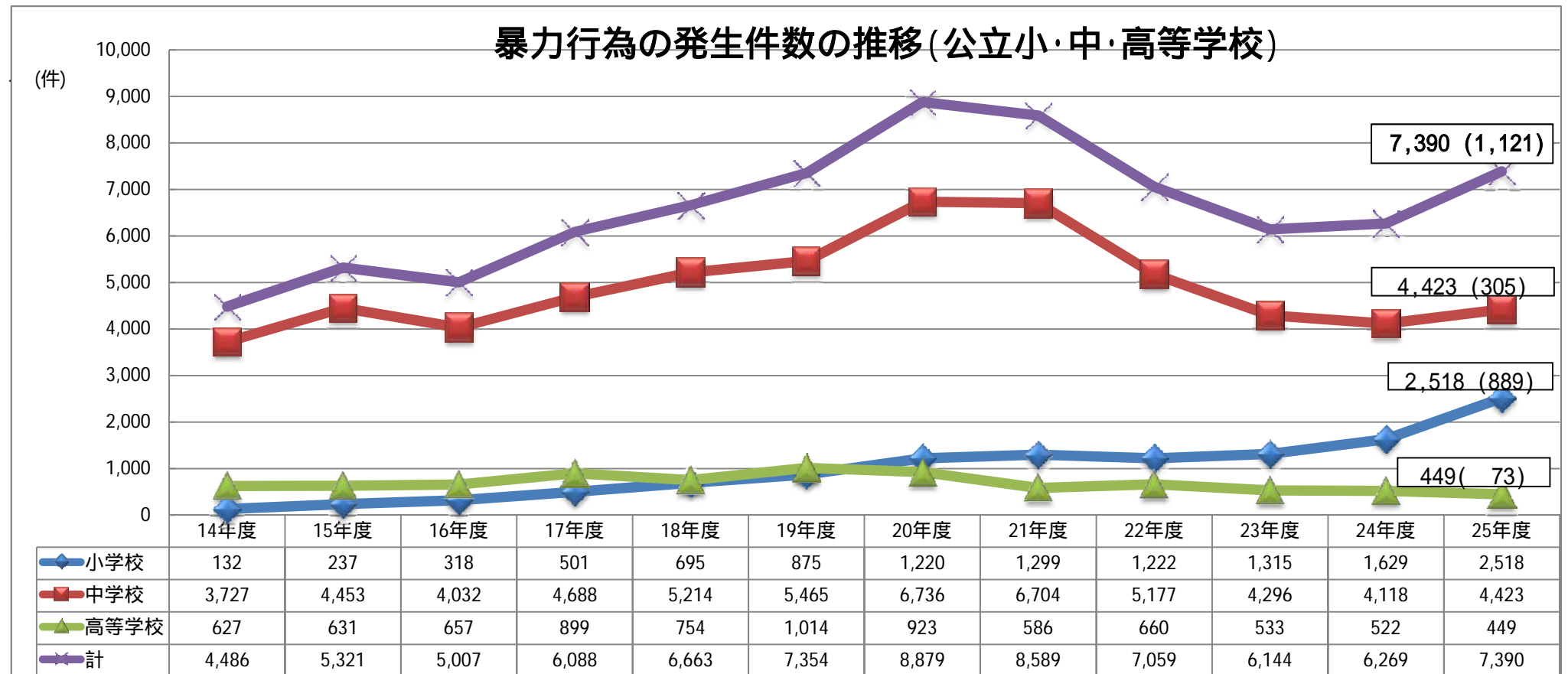
オ 器物損壊

区分	学校総数(校)	発生学校数(校)	発生学校数の割合(%)	発生件数(件)	加害児童・生徒数(人)
小学校	857	165	19.3	410	467
中学校	416	236	56.7	1,209	1,063
高等学校	161	65	40.4	149	166
計	1,434	466	32.5	1,768	1,696

ア～オともに

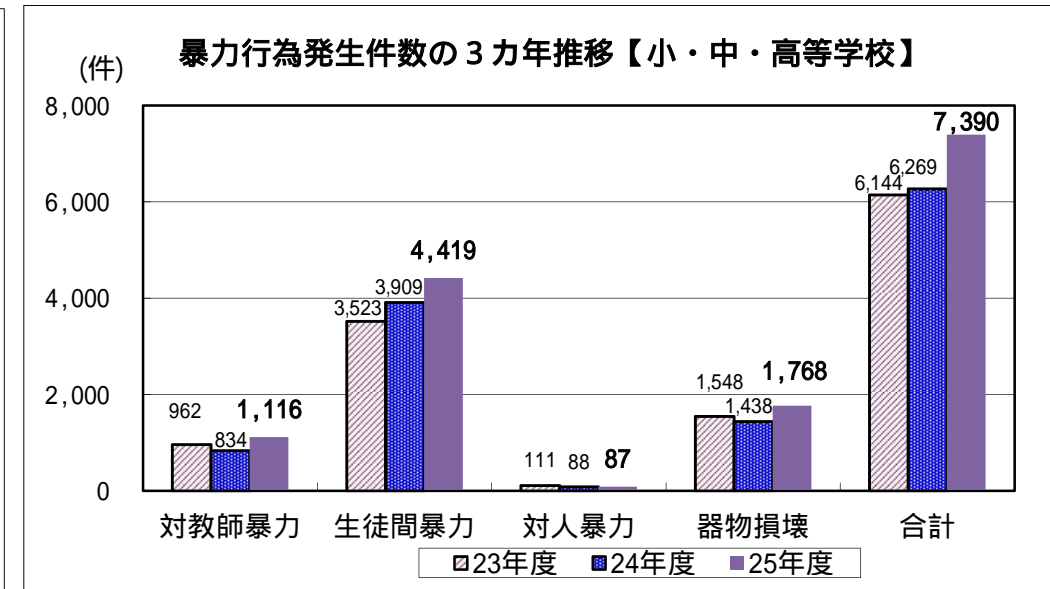
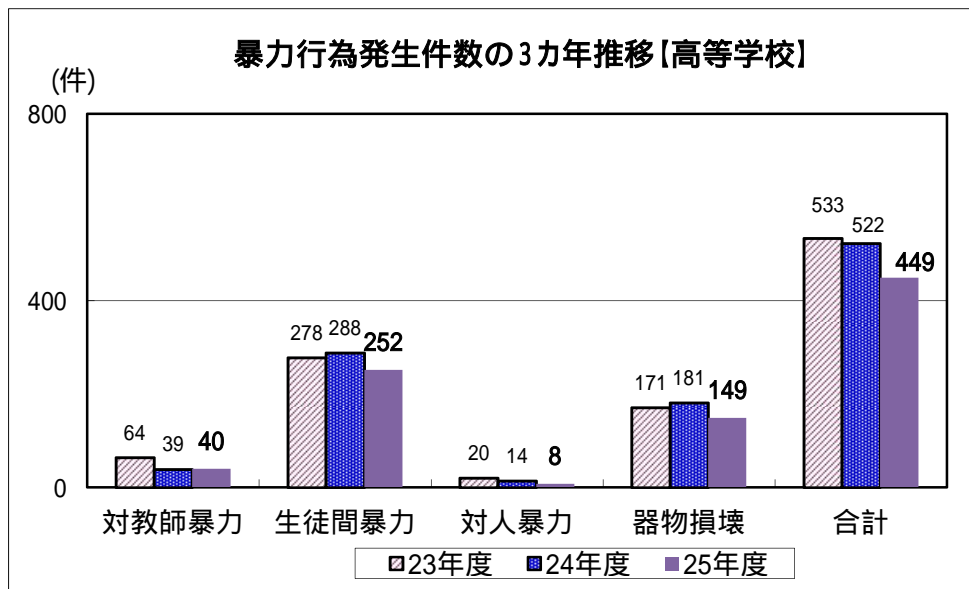
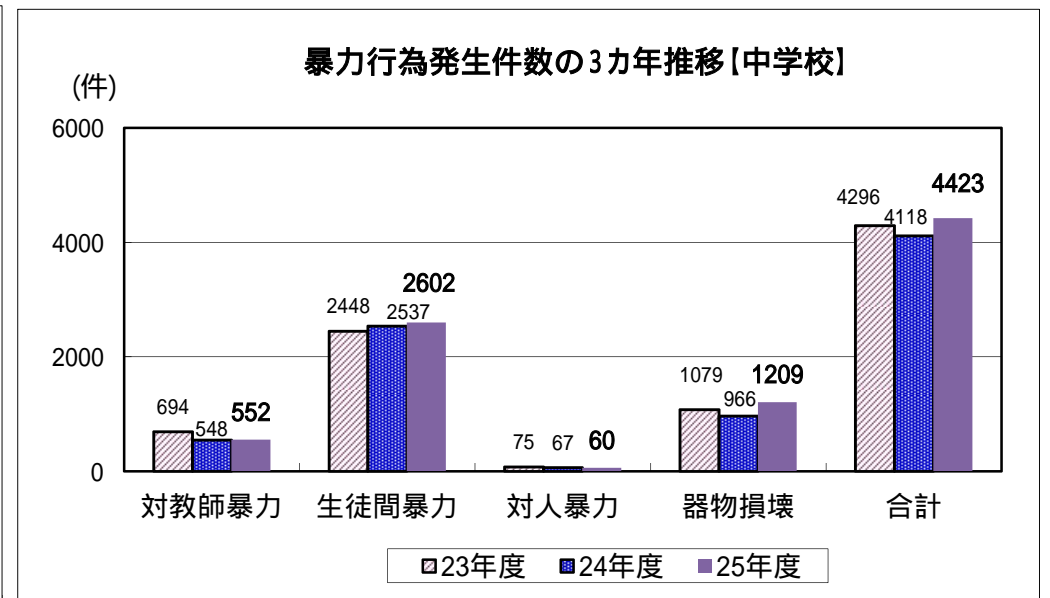
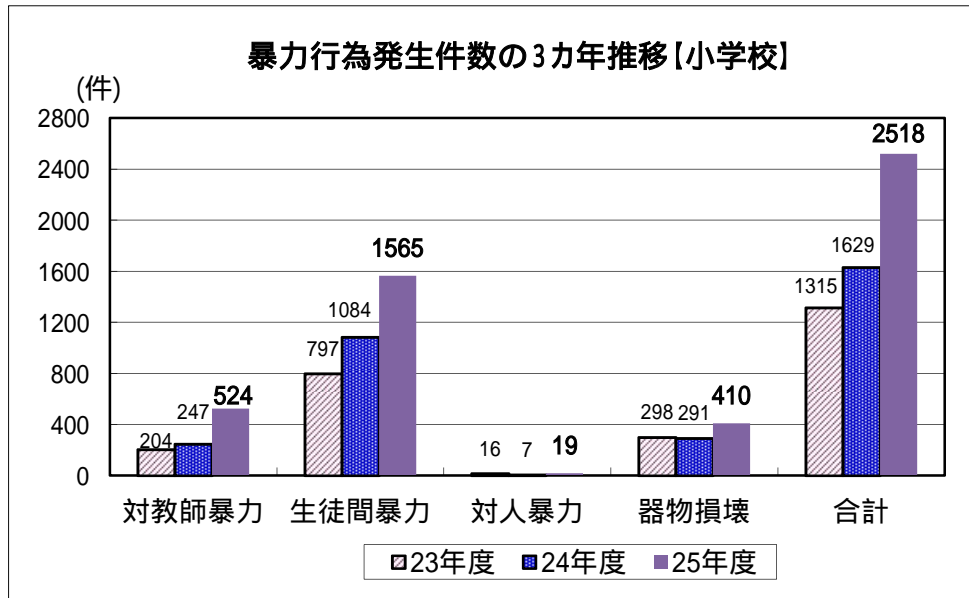
- (注1)学校総数は、平成25年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。
- (注2)発生学校数は、のべ数。発生件数のうち 病院の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。
- (注3)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注4)「合計」欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。
- (注5)「合計」欄の加害児童・生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童・生徒が複数の形態の加害児童・生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童・生徒数の数値と一致しない。

(参考1)
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別・男女別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
男子	98	192	232	329	438	587	1,876	1,266	1,407	1,351	4,024	255	175	74	504	6,404
女子	6	12	10	16	36	48	128	50	89	91	230	30	15	15	60	418
計	104	204	242	345	474	635	2,004	1,316	1,496	1,442	4,254	285	190	89	564	6,822

(注)人数は、(1-1)暴力行為の発生状況の「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」に計上された加害児童・生徒数の数値を合計したものと一致し、延べ人数となり、実人数ではない。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学						停学			出席停止			自宅学習 自宅謹慎等			訓告		計			
	懲戒退学			その他			学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	学校		小計	学校		小計	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
	内	外		内	外																
小学校	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	12	0	12	12	0	12
中学校	0	0	-	0	1	1	-	-	-	0	0	0	-	-	-	76	5	81	76	6	82
高等学校	0	0	0	23	4	27	0	0	0	-	-	-	370	44	414	0	0	0	393	48	441

(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申し出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 加害児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

区分	警察の補導			家庭裁判所の 保護的措置			少年刑務所			少年院			保護観察			児童自立支援 施設			児童相談所			計		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	11	2	13	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	4	0	4	28	4	32	43	6	49
中学校	125	41	166	50	35	85	-	-	-	4	10	14	21	16	37	3	2	5	46	11	57	249	115	364
高等学校	3	2	5	1	1	2	0	0	0	0	1	1	1	8	9	0	0	0	0	0	0	5	12	17

(注1)最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2)「家庭裁判所の保護的措置」には、審判不開始、不処分のほか、調査中、審判中のものが含まれる。

(1 - 5)加害児童・生徒に対する学校の対応

ア 指導した者

区分	学級担任や他の教職員が指導			養護教諭が指導			校長、教頭が指導			スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			その他の者が指導		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,709	208	1,917	312	7	319	674	48	722	96	8	104	95	20	115
中学校	3,770	410	4,180	179	14	193	663	37	700	67	10	77	130	25	155
高等学校	429	47	476	38	11	49	391	41	432	29	1	30	60	1	61
計	5,908	665	6,573	529	32	561	1,728	126	1,854	192	19	211	285	46	331

イ 連携した機関等

区分	警察等の刑事司法機関等と連携した対応			児童相談所等の福祉機関等と連携した対応			病院等の医療機関等と連携した対応			その他の専門的な関係機関等と連携した対応			地域の人材や団体等と連携した対応		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	57	6	63	72	2	74	63	4	67	115	8	123	13	3	16
中学校	330	122	452	90	12	102	97	10	107	42	6	48	3	3	6
高等学校	8	10	18	0	0	0	8	0	8	6	1	7	1	0	1
計	395	138	533	162	14	176	168	14	182	163	15	178	17	6	23

ウ 指導等の内容

区分	被害者等(被害者の関係者を含む)に対する謝罪指導			友人関係を改善するための指導			ルールの徹底や規範意識を醸成するための指導			個別に学習支援			当該児童・生徒が意欲を持って活動できる場を用意		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外		内	外		内	外	
小学校	1,347	198	1,545	1,000	145	1,145	1,395	174	1,569	219	8	227	421	24	445
中学校	3,032	317	3,349	1,608	186	1,794	2,788	280	3,068	134	13	147	316	33	349
高等学校	297	36	333	216	29	245	399	40	439	169	22	191	59	3	62
計	4,676	551	5,227	2,824	360	3,184	4,582	494	5,076	522	43	565	796	60	856

区分	教職員との関係改善			保護者の協力を求めて、家族関係等の改善・調整			その他		
	学校		小計	学校		小計	学校		小計
	内	外		内	外		内	外	
小学校	293	12	305	803	93	896	17	1	18
中学校	424	47	471	1,499	182	1,681	22	7	29
高等学校	62	1	63	129	18	147	4	0	4
計	779	60	839	2,431	293	2,724	43	8	51

ア、イ、ウともに
 (注1)複数選択を可とする。
 (注2)「連携した機関等」には、当該機関の関係団体や関係者を含む。
 なお、「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」には「サポートチーム」の取組などを含む。

(1 - 6) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

		小学校	中学校
該当児童・生徒数		85	84
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数		884	635
内訳	対教師暴力	353	134
	生徒間暴力	450	320
	対人暴力	9	4
	器物損壊	72	177
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合		5.1	2.4
(再掲)各区分における加害児童・生徒数		1,677	3,443
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合		35.1	14.4
(再掲)暴力行為発生件数		2,518	4,423

(参考)

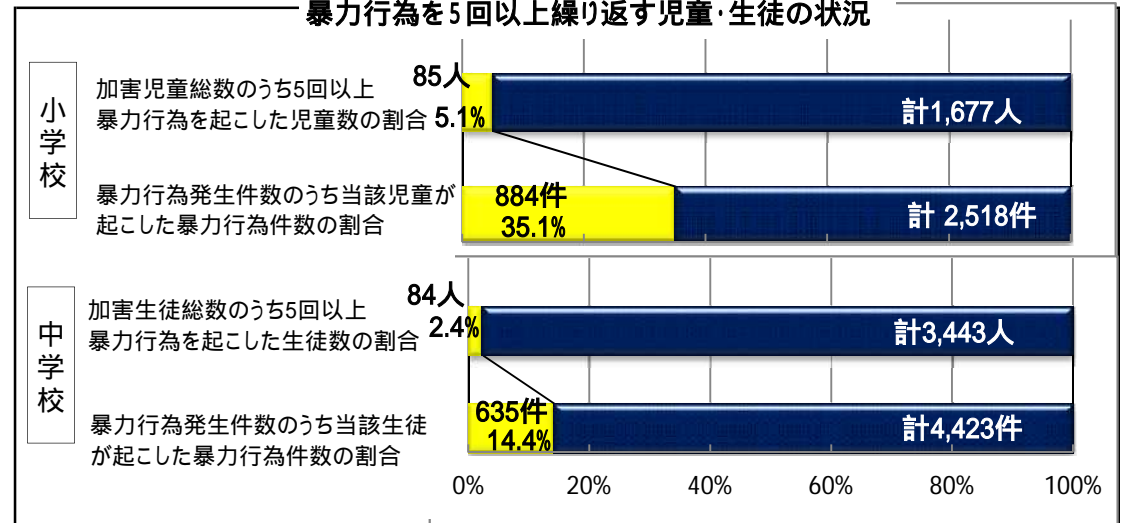
【小学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	9	0	10	0	11	0	19	0	14	1	19	2	82	3	85	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	52	0	75	0	82	0	208	0	106	5	344	12	867	17	884	
内訳	対教師暴力	22	0	17	0	29	0	66	0	35	4	174	6	343	10	353
	生徒間暴力	29	0	56	0	50	0	105	0	54	1	150	5	444	6	450
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	2	0	9	0	9
	器物損壊	1	0	2	0	3	0	30	0	17	0	18	1	71	1	72

【中学校学年別人数】

	1年生		2年生		3年生		計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
該当児童・生徒数	22	0	33	0	29	0	84	0	84	
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	156	0	245	0	234	0	635	0	635	
内訳	対教師暴力	24	0	46	0	64	0	134	0	134
	生徒間暴力	117	0	113	0	90	0	320	0	320
	対人暴力	2	0	0	0	2	0	4	0	4
	器物損壊	13	0	86	0	78	0	177	0	177

暴力行為を5回以上繰り返す児童・生徒の状況



イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	本人に粗暴的な性格が見受けられる	76	89.4	73	86.9	149	88.2
	本人の規範意識が低いと思われる	63	74.1	70	83.3	133	78.7
家庭の問題	養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	16	18.8	18	21.4	34	20.1
	ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	13	15.3	14	16.7	27	16.0
	家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	60	70.6	54	64.3	114	67.5
学校の問題	友達との人間関係をうまく構築できない	66	77.6	41	48.8	107	63.3
	教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	25	29.4	26	31.0	51	30.2
	校内での非行グループ化が背景にある	7	8.2	29	34.5	36	21.3
	卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	2	2.4	27	32.1	29	17.2
	授業を理解できないことが原因と思われる	38	44.7	50	59.5	88	52.1
その他	その他	16	18.8	14	16.7	30	17.8

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	85	中学校	84	合計	169
----------	-----	----	-----	----	----	-----

2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

(2-1) いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	857	616	71.9	3,870	4.5	241	28.1
中学校	416	361	86.8	2,708	6.5	55	13.2
高等学校	187	80	42.8	190	1.0	107	57.2
特別支援学校	45	10	22.2	51	1.1	35	77.8
計	1,505	1,067	70.9	6,819	4.5	438	29.1

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つて行うものとする。
 「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。
 「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報する必要があるものが含まれる。これらについては、教育的配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。
 (注2)学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2-2) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	158	281	336	409	533	544	2,261	742	549	247	1,538	72	51	11	134
女子	112	156	195	280	389	477	1,609	594	402	174	1,170	33	14	9	56
計	270	437	531	689	922	1,021	3,870	1,336	951	421	2,708	105	65	20	190

区分	特別支援学校																合計
	小学部							中学部				高等部				計	
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	2	18	20	4	42	46	3,979
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	4	5	2,840
計	0	0	1	1	0	0	2	2	0	1	3	20	21	5	46	51	6,819

(2-3) 警察に相談・通報した校数・件数

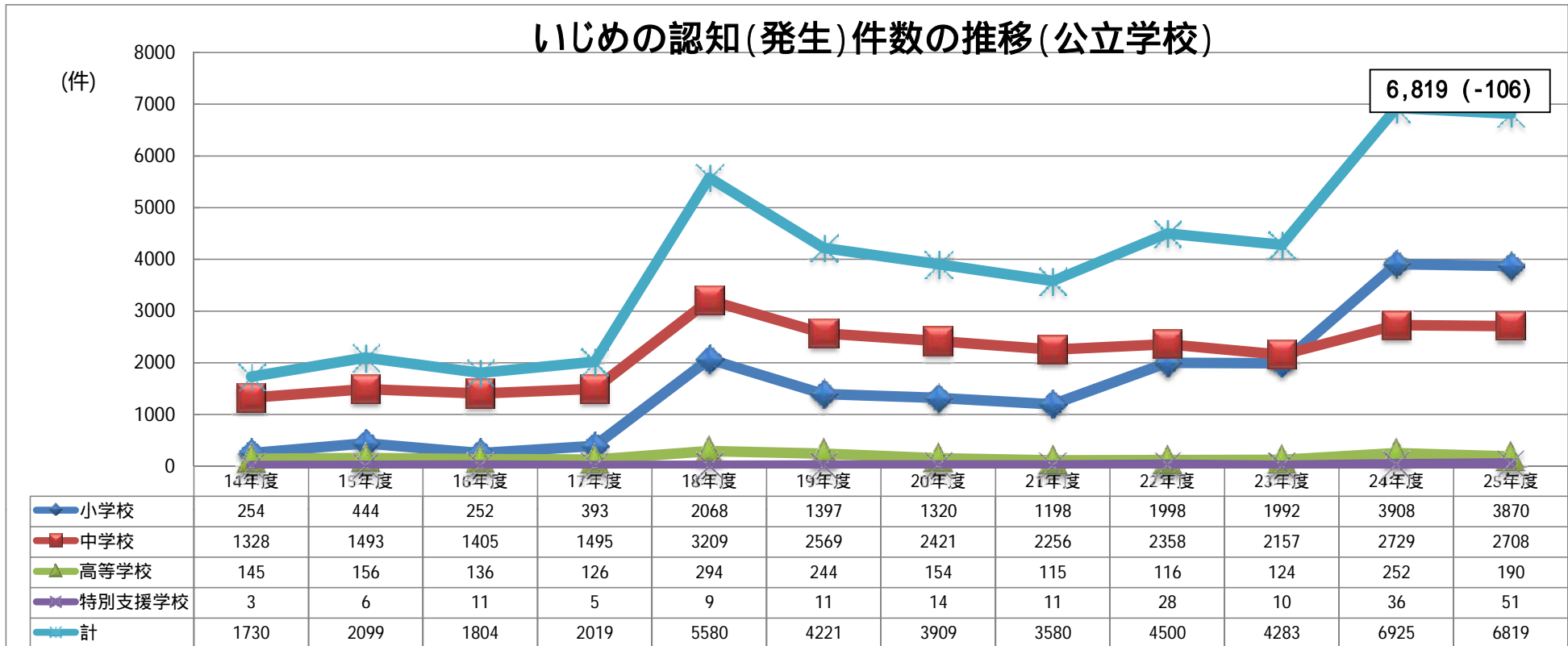
区分	いじめを認知した学校数			いじめの認知件数		
	(単位:校)	うち、警察に相談・通報した学校数 (単位:校)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:件)
小学校	616	11	1.8	3,870	12	0.3
中学校	361	39	10.8	2,708	47	1.7
高等学校	80	5	6.3	190	5	2.6
特別支援学校	10	0	0.0	51	0	0.0
計	1,067	55	5.2	6,819	64	0.9

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、平成25年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	2,446	63.2	1,316	34.0	83	2.1	25	0.6	3,870	100
中学校	1,961	72.4	662	24.4	71	2.6	14	0.5	2,708	100
高等学校	162	85.3	19	10.0	7	3.7	2	1.1	190	100
特別支援学校	28	54.9	20	39.2	0	0.0	3	5.9	51	100
計	4,597	67.4	2,017	29.6	161	2.4	44	0.6	6,819	100

(2-5)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	1,907	49.3	966	35.7	102	53.7	35	68.6	3,010	44.1
学級担任が発見	1,204	31.1	597	22.0	27	14.2	27	52.9	1,855	27.2
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	98	2.5	192	7.1	25	13.2	8	15.7	323	4.7
養護教諭が発見	27	0.7	21	0.8	2	1.1	0	0.0	50	0.7
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	4	0.1	2	0.1	0	0.0	0	0.0	6	0.1
アンケート調査など学校の取組により発見	574	14.8	154	5.7	48	25.3	0	0.0	776	11.4
学校の教職員等以外からの情報により発見	1,963	50.7	1,742	64.3	88	46.3	16	31.4	3,809	55.9
本人からの訴え	863	22.3	988	36.5	50	26.3	10	19.6	1,911	28.0
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	776	20.1	477	17.6	21	11.1	5	9.8	1,279	18.8
児童・生徒(本人を除く)からの情報	174	4.5	182	6.7	12	6.3	0	0.0	368	5.4
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	127	3.3	77	2.8	5	2.6	1	2.0	210	3.1
地域住民からの情報	9	0.2	6	0.2	0	0.0	0	0.0	15	0.2
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	10	0.3	11	0.4	0	0.0	0	0.0	21	0.3
その他(匿名による投書など)	4	0.1	1	0.0	0	0.0	0	0.0	5	0.1
計	3,870	100	2,708	100	190	100	51	100	6,819	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-6)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	2,779	71.8	1,919	70.9	99	52.1	32	62.7	4,829	70.8
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	605	15.6	618	22.8	42	22.1	10	19.6	1,275	18.7
養護教諭に相談	190	4.9	196	7.2	17	8.9	2	3.9	405	5.9
スクールカウンセラー等の相談員に相談	121	3.1	161	5.9	17	8.9	1	2.0	300	4.4
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	33	0.9	53	2.0	2	1.1	1	2.0	89	1.3
保護者や家族等に相談	1,296	33.5	851	31.4	36	18.9	10	19.6	2,193	32.2
友人に相談	159	4.1	250	9.2	30	15.8	0	0.0	439	6.4
その他(地域の人など)	7	0.2	10	0.4	14	7.4	0	0.0	31	0.5
誰にも相談していない	170	4.4	139	5.1	31	16.3	12	23.5	352	5.2
いじめの認知件数	3,870		2,708		190		51		6,819	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-7)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	2,728	70.5	1,765	65.2	97	51.1	35	68.6	4,625	67.8
仲間はずれ、集団による無視をされる	774	20.0	410	15.1	19	10.0	4	7.8	1,207	17.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	830	21.4	391	14.4	23	12.1	4	7.8	1,248	18.3
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	177	4.6	156	5.8	12	6.3	4	7.8	349	5.1
金品をたかられる	40	1.0	49	1.8	6	3.2	1	2.0	96	1.4
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	241	6.2	185	6.8	14	7.4	4	7.8	444	6.5
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	281	7.3	163	6.0	32	16.8	6	11.8	482	7.1
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	95	2.5	300	11.1	49	25.8	1	2.0	445	6.5
その他	134	3.5	67	2.5	6	3.2	1	2.0	208	3.1
いじめの認知件数	3,870		2,708		190		51		6,819	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめる児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,291	85.0	2,435	89.9	165	86.8	47	92.2	5,938	87.1	
養護教諭が状況を聞く	235	6.1	110	4.1	13	6.8	3	5.9	361	5.3	
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	99	2.6	65	2.4	7	3.7	0	0.0	171	2.5	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	89	2.3	59	2.2	13	6.8	0	0.0	161	2.4	
学級担任や他の教職員が指導	2,723	70.4	2,159	79.7	133	70.0	35	68.6	5,050	74.1	
養護教諭が指導	147	3.8	39	1.4	6	3.2	1	2.0	193	2.8	
校長、教頭が指導	444	11.5	79	2.9	93	48.9	5	9.8	621	9.1	
別室指導	425	11.0	274	10.1	79	41.6	3	5.9	781	11.5	
グループ替えや席替え、学級替え等	763	19.7	200	7.4	5	2.6	0	0.0	968	14.2	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	0.0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	4	0.1	2	0.1	6	3.2	0	0.0	12	0.2	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	65	34.2	1	2.0	66	1.0	
訓告	11	0.3	7	0.3	0	0.0	0	0.0	18	0.3	
保護者への報告	1,956	50.5	1,857	68.6	115	60.5	28	54.9	3,956	58.0	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	1,655	42.8	1,535	56.7	85	44.7	8	15.7	3,283	48.1	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	16	0.4	63	2.3	5	2.6	0	0.0	84	1.2
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	19	0.5	15	0.6	0	0.0	0	0.0	34	0.5
	ウ 病院等の医療機関等との連携	14	0.4	9	0.3	1	0.5	0	0.0	24	0.4
	エ その他の専門的な関係機関との連携	25	0.6	5	0.2	0	0.0	0	0.0	30	0.4
	オ 地域の人材や団体等との連携	8	0.2	3	0.1	0	0.0	0	0.0	11	0.2
その他	29	0.7	6	0.2	0	0.0	2	3.9	37	0.5	
いじめの認知件数	3,870		2,708		190		51		6,819		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9) いじめられた児童・生徒への対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	3,688	95.3	2,538	93.7	175	92.1	51	100.0	6,452	94.6
養護教諭が状況を聞く	365	9.4	260	9.6	22	11.6	2	3.9	649	9.5
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	184	4.8	193	7.1	21	11.1	0	0.0	398	5.8
学級担任や他の教職員が継続的にケアを行う	1,802	46.6	1,638	60.5	100	52.6	32	62.7	3,572	52.4
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	216	5.6	160	5.9	14	7.4	5	9.8	395	5.8
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	106	2.7	162	6.0	18	9.5	1	2.0	287	4.2
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	177	4.6	162	6.0	9	4.7	3	5.9	351	5.1
緊急避難としての欠席	62	1.6	38	1.4	2	1.1	1	2.0	103	1.5
他の児童・生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	455	11.8	324	12.0	15	7.9	0	0.0	794	11.6
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	256	6.6	689	25.4	11	5.8	1	2.0	957	14.0
グループ替えや席替え、学級替え等	945	24.4	243	9.0	7	3.7	0	0.0	1,195	17.5
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	94	2.4	78	2.9	7	3.7	0	0.0	179	2.6
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	36	0.9	27	1.0	0	0.0	1	2.0	64	0.9
その他	35	0.9	8	0.3	3	1.6	2	3.9	48	0.7
いじめの認知件数	3,870		2,708		190		51		6,819	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	832	97.1	406	97.6	154	82.4	23	51.1	1,415	94.0
いじめ問題に関する校内研修を実施した。	627	73.2	285	68.5	80	42.8	14	31.1	1,006	66.8
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	778	90.8	383	92.1	78	41.7	17	37.8	1,256	83.5
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	531	62.0	297	71.4	50	26.7	12	26.7	890	59.1
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	597	69.7	318	76.4	138	73.8	10	22.2	1,063	70.6
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	775	90.4	378	90.9	149	79.7	18	40.0	1,320	87.7
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	463	54.0	230	55.3	62	33.2	7	15.6	762	50.6
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	486	56.7	237	57.0	63	33.7	5	11.1	791	52.6
P T A や地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	208	24.3	120	28.8	11	5.9	1	2.2	340	22.6
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	196	22.9	107	25.7	7	3.7	2	4.4	312	20.7
その他	13	1.5	6	1.4	3	1.6	3	6.7	25	1.7
学校総数	857		416		187		45		1,505	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-11)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		616	100.0	361	100.0	79	98.8	4	40.0	1,060	99.3
実施頻度	ア 年1回	75	12.2	17	4.7	34	42.5	0	0.0	126	11.8
	イ 年2～3回	479	77.8	248	68.7	45	56.3	3	30.0	775	72.6
	ウ 年4回以上	62	10.1	96	26.6	0	0.0	1	10.0	159	14.9
調査方法	ア 記名式	369	59.9	244	67.6	21	26.3	2	20.0	636	59.6
	イ 無記名式	394	64.0	203	56.2	54	67.5	4	40.0	655	61.4
	ウ 選択式	74	12.0	68	18.8	15	18.8	0	0.0	157	14.7
個別面談の実施		400	64.9	319	88.4	59	73.8	8	80.0	786	73.7
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		239	38.8	160	44.3	3	3.8	0	0.0	402	37.7
家庭訪問		275	44.6	239	66.2	4	5.0	3	30.0	521	48.8
その他		18	2.9	13	3.6	1	1.3	1	10.0	33	3.1
いじめを認知した学校数		616		361		80		10		1,067	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		241	100.0	55	100.0	105	98.1	16	45.7	417	95.2
実施頻度	ア 年1回	29	12.0	7	12.7	50	46.7	13	37.1	99	22.6
	イ 年2～3回	194	80.5	40	72.7	54	50.5	3	8.6	291	66.4
	ウ 年4回以上	18	7.5	8	14.5	1	0.9	0	0.0	27	6.2
調査方法	ア 記名式	137	56.8	38	69.1	35	32.7	3	8.6	213	48.6
	イ 無記名式	77	32.0	26	47.3	70	65.4	12	34.3	185	42.2
	ウ 選択式	28	11.6	7	12.7	15	14.0	1	2.9	51	11.6
個別面談の実施		150	62.2	50	90.9	73	68.2	22	62.9	295	67.4
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		104	43.2	23	41.8	7	6.5	10	28.6	144	32.9
家庭訪問		113	46.9	39	70.9	3	2.8	17	48.6	172	39.3
その他		11	4.6	1	1.8	2	1.9	7	20.0	21	4.8
いじめを認知していない学校数		241		55		107		35		438	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

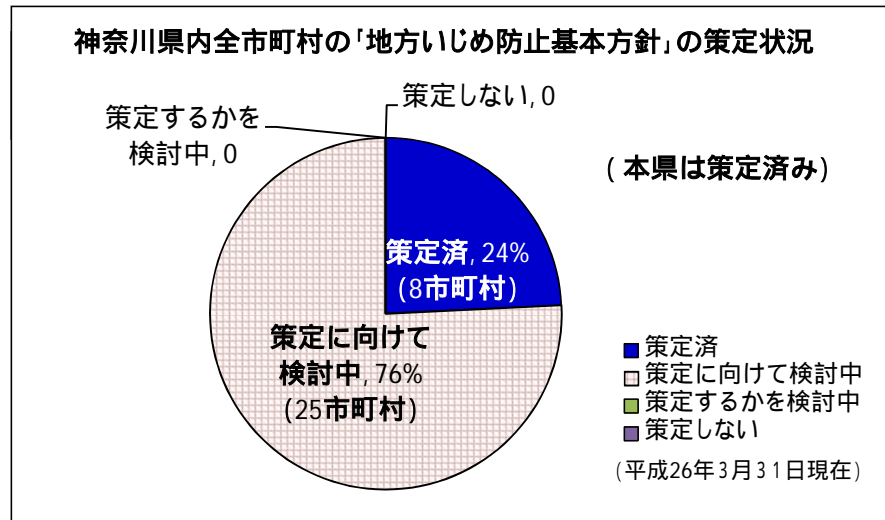
【合計】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	857	100.0	416	100.0	184	98.4	20	44.4	1,477	98.1	
実施頻度	ア 年1回	104	12.1	24	5.8	84	44.9	13	28.9	225	15.0
	イ 年2～3回	673	78.5	288	69.2	99	52.9	6	13.3	1,066	70.8
	ウ 年4回以上	80	9.3	104	25.0	1	0.5	1	2.2	186	12.4
調査方法	ア 記名式	506	59.0	282	67.8	56	29.9	5	11.1	849	56.4
	イ 無記名式	471	55.0	229	55.0	124	66.3	16	35.6	840	55.8
	ウ 選択式	102	11.9	75	18.0	30	16.0	1	2.2	208	13.8
個別面談の実施	550	64.2	369	88.7	132	70.6	30	66.7	1,081	71.8	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	343	40.0	183	44.0	10	5.3	10	22.2	546	36.3	
家庭訪問	388	45.3	278	66.8	7	3.7	20	44.4	693	46.0	
その他	29	3.4	14	3.4	3	1.6	8	17.8	54	3.6	
学校総数	857		416		187		45		1,505		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)

「いじめ防止対策推進法」に関して



いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	1	0	0	0	1
重大事態発生件数(件)	1	0	0	0	1
うち、第1号	0	0	0	0	0
うち、第2号	1	0	0	0	1

調査期間:平成25年9月28日以後平成26年3月31日まで

*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

(2-12)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校							中学校				特別支援学校			合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	小学部	中学部	計	
平成25年度	1	0	2	1	3	6	13	5	3	4	12	0	0	0	25

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数
9

3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

(3-1) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	115	176	276	379	551	682	2,179	1,590	2,414	2,815	6,819	8,998

(参考1)

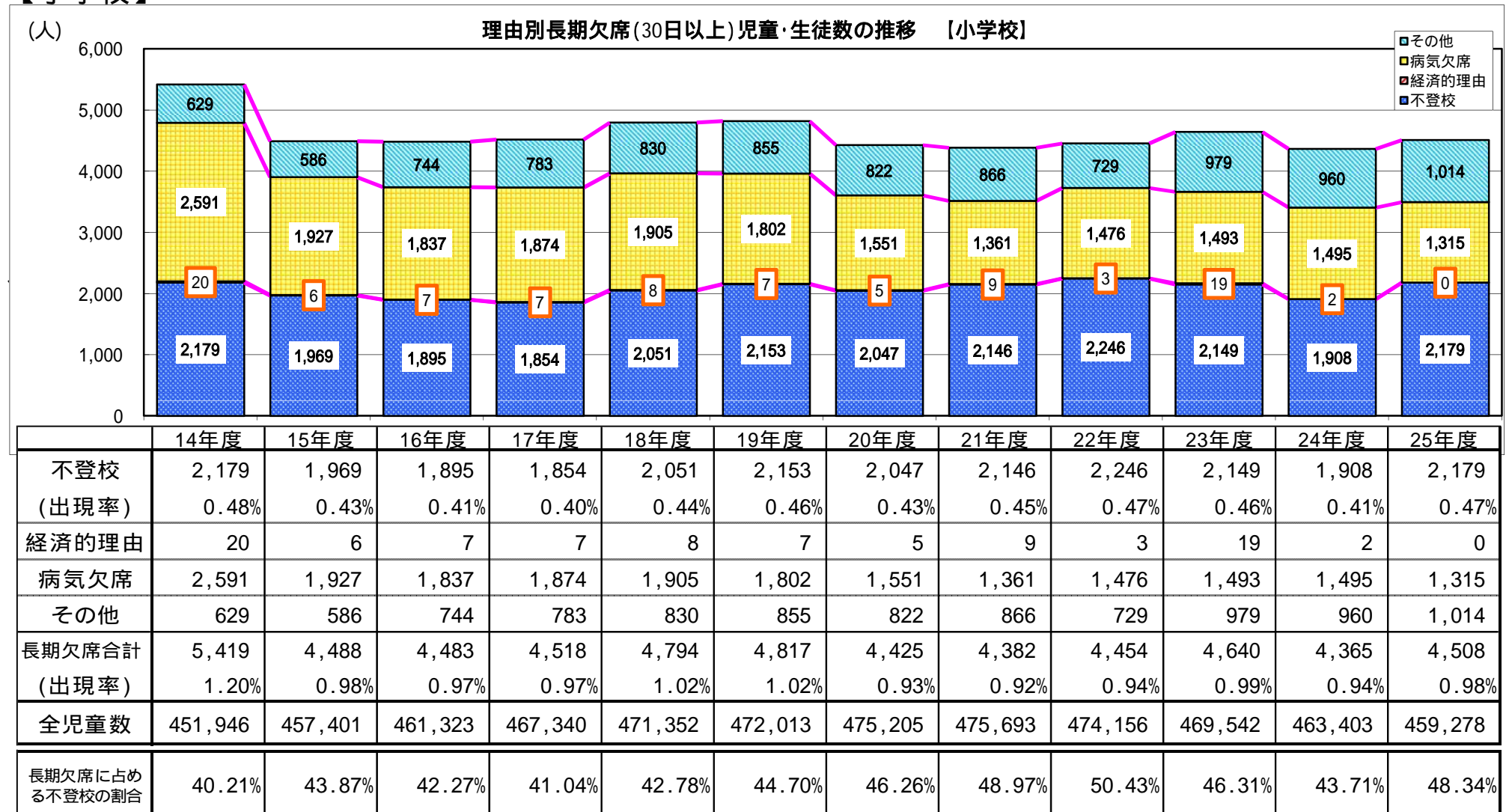
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数 (人)	(B) 不登校 児童数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児童 数の増減率 (%)	(A) 全生徒数 (人)	(B) 不登校 生徒数 (人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校 生徒数の 増減率 (%)	(A) 全児童・ 生徒数(人)	(B) 不登校児 童・生徒 数(人)	出現率 (B/A× 100)(%)	不登校児 童・生徒数 の増減率 (%)
7年度	487,323	1,026	0.21	-	237,307	3,905	1.65	-	724,630	4,931	0.68	-
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	13.5	215,077	6,599	3.07	0.4	664,032	8,243	1.24	3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	9.6	194,953	7,007	3.59	1.6	652,354	8,976	1.38	3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	4.0	678,141	9,819	1.45	2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	1.5	677,288	9,802	1.45	0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	4.3	207,684	7,132	3.43	5.6	677,226	9,281	1.37	5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	11.2	209,568	6,646	3.17	6.8	672,971	8,554	1.27	7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2

(参考2)

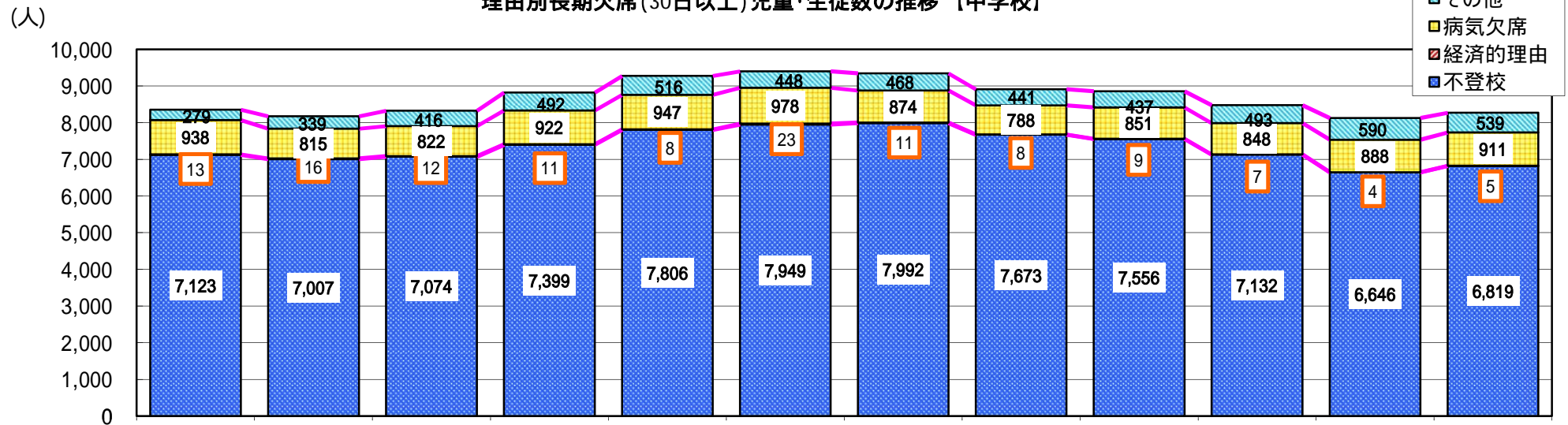
公立小・中学校 理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移 (「学校基本調査」結果より)

【小学校】



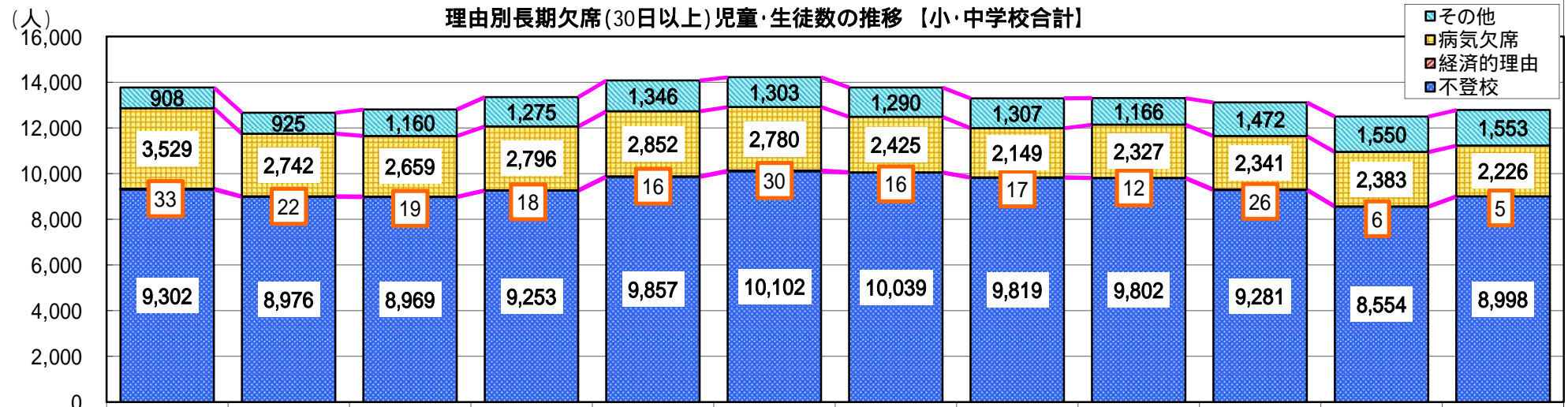
【中学校】

理由別長期欠席(30日以上)児童・生徒数の推移【中学校】



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
不登校 (出現率)	7,123 3.56%	7,007 3.59%	7,074 3.69%	7,399 3.85%	7,806 4.02%	7,949 4.02%	7,992 4.00%	7,673 3.79%	7,556 3.72%	7,132 3.43%	6,646 3.17%	6,819 3.23%
経済的理由	13	16	12	11	8	23	11	8	9	7	4	5
病気欠席	938	815	822	922	947	978	874	788	851	848	888	911
その他	279	339	416	492	516	448	468	441	437	493	590	539
長期欠席合計 (出現率)	8,353 4.17%	8,177 4.19%	8,324 4.34%	8,824 4.59%	9,277 4.78%	9,398 4.76%	9,345 4.68%	8,910 4.40%	8,853 4.36%	8,480 4.08%	8,128 3.88%	8,274 3.92%
全生徒数	200,182	194,953	191,846	192,418	194,015	197,604	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880
長期欠席に占める不登校の割合	85.27%	85.69%	84.98%	83.85%	84.14%	84.58%	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%

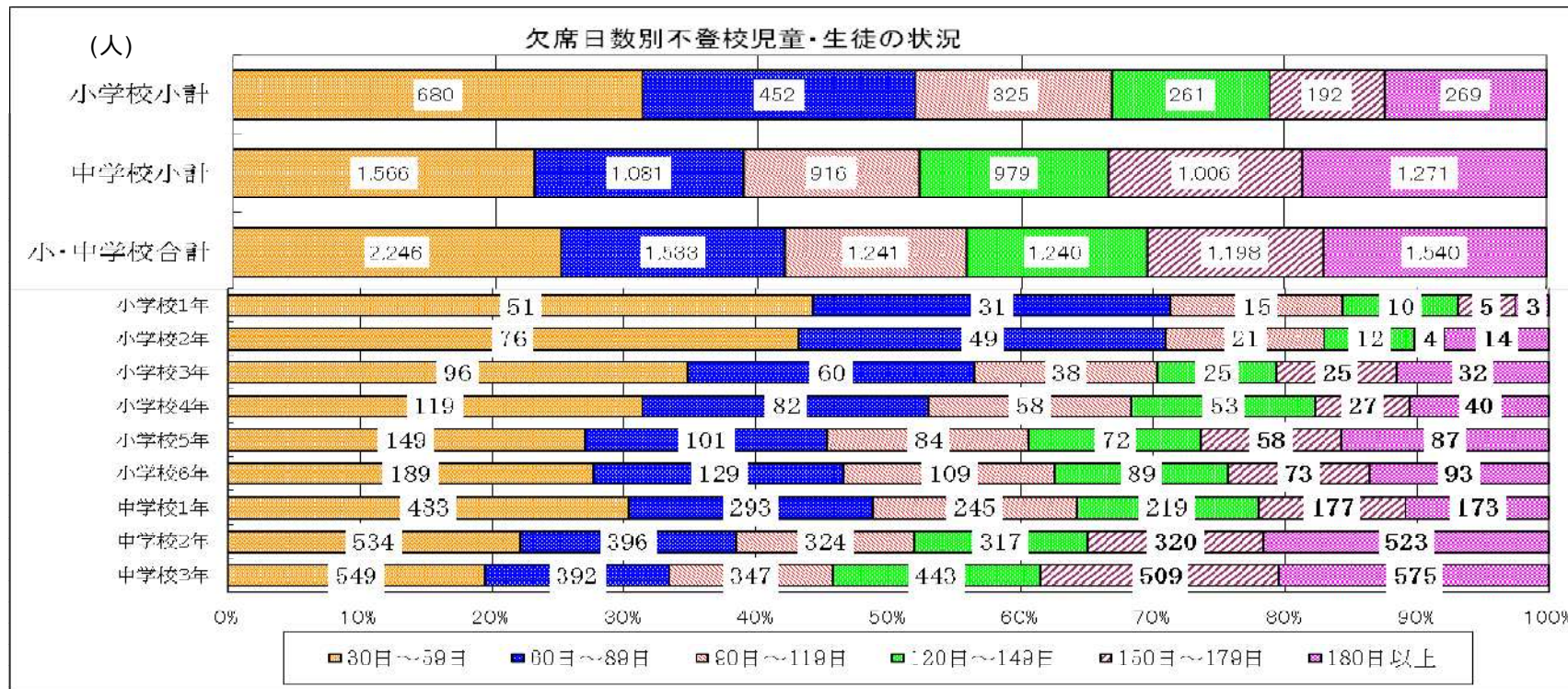
【小・中学校合計】



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
不登校 (出現率)	9,302 1.43%	8,976 1.38%	8,969 1.37%	9,253 1.40%	9,857 1.48%	10,102 1.51%	10,039 1.49%	9,819 1.45%	9,802 1.45%	9,281 1.37%	8,554 1.27%	8,998 1.34%
経済的理由	33	22	19	18	16	30	16	17	12	26	6	5
病欠欠席	3,529	2,742	2,659	2,796	2,852	2,780	2,425	2,149	2,327	2,341	2,383	2,226
その他	908	925	1,160	1,275	1,346	1,303	1,290	1,307	1,166	1,472	1,550	1,553
長期欠席合計 (出現率)	13,772 2.11%	12,665 1.94%	12,807 1.96%	13,342 2.02%	14,071 2.11%	14,215 2.12%	13,770 2.04%	13,292 1.96%	13,307 1.96%	13,120 1.94%	12,493 1.86%	12,782 1.91%
全生徒数	652,128	652,354	653,169	659,758	665,367	669,617	674,857	678,141	677,288	677,226	672,971	670,158
長期欠席に占める不登校の割合	67.54%	70.87%	70.03%	69.35%	70.05%	71.07%	72.90%	73.87%	73.66%	70.74%	68.47%	70.40%

(3 - 2) 欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	不登校児童・生徒数	欠席日数											
			30日～59日		60日～89日		90日～119日		120日～149日		150日～179日		180日以上	
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	115	51	44.3	31	27.0	15	13.0	10	8.7	5	4.3	3	2.6
	2年生	176	76	43.2	49	27.8	21	11.9	12	6.8	4	2.3	14	8.0
	3年生	276	96	34.8	60	21.7	38	13.8	25	9.1	25	9.1	32	11.6
	4年生	379	119	31.4	82	21.6	58	15.3	53	14.0	27	7.1	40	10.6
	5年生	551	149	27.0	101	18.3	84	15.2	72	13.1	58	10.5	87	15.8
	6年生	682	189	27.7	129	18.9	109	16.0	89	13.0	73	10.7	93	13.6
	計	2,179	680	31.2	452	20.7	325	14.9	261	12.0	192	8.8	269	12.3
中学校	1年生	1,590	483	30.4	293	18.4	245	15.4	219	13.8	177	11.1	173	10.9
	2年生	2,414	534	22.1	396	16.4	324	13.4	317	13.1	320	13.3	523	21.7
	3年生	2,815	549	19.5	392	13.9	347	12.3	443	15.7	509	18.1	575	20.4
	計	6,819	1,566	23.0	1,081	15.9	916	13.4	979	14.4	1,006	14.8	1,271	18.6
合計	合計	8,998	2,246	25.0	1,533	17.0	1,241	13.8	1,240	13.8	1,198	13.3	1,540	17.1



(3-3)不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(%) (B/A×100)
小学校	857	664	77.5
中学校	416	407	97.8
計	1,273	1,071	84.1

(3-4)不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
学校に係る状況	764	35.1	3,280	48.1	4,044	44.9
いじめ	34	1.6	107	1.6	141	1.6
いじめを除く友人関係をめぐる問題	272	12.5	1,370	20.1	1,642	18.2
教職員との関係をめぐる問題	108	5.0	131	1.9	239	2.7
学業の不振	261	12.0	893	13.1	1,154	12.8
進路にかかる不安	13	0.6	168	2.5	181	2.0
クラブ活動、部活動等への不適応	0	0.0	208	3.1	208	2.3
学校のきまり等をめぐる問題	20	0.9	184	2.7	204	2.3
入学、転編入学、進級時の不適応	56	2.6	219	3.2	275	3.1
家庭に係る状況	1,018	46.7	1,554	22.8	2,572	28.6
家庭の生活環境の急激な変化	251	11.5	389	5.7	640	7.1
親子関係をめぐる問題	623	28.6	811	11.9	1,434	15.9
家庭内の不和	144	6.6	354	5.2	498	5.5
本人に係る状況	1,963	90.1	6,361	93.3	8,324	92.5
病気による欠席	258	11.8	566	8.3	824	9.2
あそび・非行	29	1.3	776	11.4	805	8.9
無気力	486	22.3	2,098	30.8	2,584	28.7
不安など情緒的混乱	951	43.6	2,324	34.1	3,275	36.4
意図的な拒否	125	5.7	404	5.9	529	5.9
その他本人に関わる問題	114	5.2	193	2.8	307	3.4
その他	132	6.1	85	1.2	217	2.4
不明	42	1.9	170	2.5	212	2.4

不登校児童・生徒数	2,179	6,819	8,998
-----------	-------	-------	-------

(注1)複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(注2)構成比は、各区分における不登校児童・生徒数に対する割合

(3-5)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	970	44.5	2,612	38.3	3,582	39.8
指導中の児童・生徒	1,209	55.5	4,207	61.7	5,416	60.2
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童・生徒	456	20.9	1,656	24.3	2,112	23.5

(3-6)「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」に特に効果のあった学校の措置

区分	小学校		中学校		計	
	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)	校数(校)	割合(%)
学校内での指導の改善工夫						
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	130	19.6	131	32.2	261	24.4
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	169	25.5	167	41.0	336	31.4
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	130	19.6	94	23.1	224	20.9
養護教諭が専門的に指導にあたった。	136	20.5	122	30.0	258	24.1
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	211	31.8	270	66.3	481	44.9
友人関係を改善するための指導を行った。	158	23.8	147	36.1	305	28.5
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	217	32.7	185	45.5	402	37.5
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	125	18.8	89	21.9	214	20.0
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	174	26.2	112	27.5	286	26.7
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	225	33.9	225	55.3	450	42.0
家庭への働きかけ						
登校を促すため、電話をかけたかたり迎えに行くなどした。	280	42.2	241	59.2	521	48.6
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	214	32.2	255	62.7	469	43.8
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った。	219	33.0	173	42.5	392	36.6
他の機関との連携						
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	146	22.0	157	38.6	303	28.3
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	63	9.5	64	15.7	127	11.9
その他	16	2.4	16	3.9	32	3.0

(注1)複数回答を可とする。(各区分の学校数の合計は不登校児童・生徒の在籍学校数の合計とはならない) (注2)割合は、各区分における不登校児童・生徒の在籍する学校数に対する割合

(3-7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校				中学校				計					
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	指導要録上出席扱いした学校数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	指導要録上出席扱いした学校数(C)	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
～ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	963	239	171	18	1,997	775	253	32	2,960	32.90	1,014	0.3	424	50
教育支援センター(適応指導教室)	187	110	79	10	703	479	191	19	890	9.89	589	0.7	270	29
教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	349	95	75	5	562	225	94	5	911	10.12	320	0.4	169	10
児童相談所、福祉事務所	230	19	16	1	314	41	32	0	544	6.05	60	0.1	48	1
保健所、精神福祉保健センター	48	0	0	0	40	1	1	0	88	0.98	1	0.0	1	0
病院、診療所	314	11	11	1	496	15	5	0	810	9.00	26	0.0	16	1
民間団体、民間施設	88	28	26	3	150	74	54	8	238	2.65	102	0.4	80	11
上記以外の機関等	58	2	2	0	143	12	8	0	201	2.23	14	0.1	10	0
～ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,216	-	-	-	4,822	-	-	-	6,038	67.10	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けた人数(実数)	1,034	-	-	-	2,398	-	-	-	3,432	38.14	-	-	-	-
養護教諭による専門的な指導を受けた人数	387	-	-	-	639	-	-	-	1,026	11.40	-	-	-	-
スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	925	-	-	-	2,163	-	-	-	3,088	34.32	-	-	-	-
・ による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,145	-	-	-	4,421	-	-	-	5,566	61.86	-	-	-	-
上記 ～ 、 、 による相談・指導等を受けていない人数(実数)	672	-	-	-	3,233	-	-	-	3,905	43.40	-	-	-	-

(注) ～ 、 、 は複数回答を可とする。

(3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

小学校	中学校	計
239	775	1,014

(3-9) 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	19	52
うち「3-8」の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	4	26

(3 - 10)不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
平成25年度不登校児童・生徒数	176	276	379	551	682	2,064	1,590	2,414	2,815	6,819
うち平成24年度から継続	76	137	211	309	406	1,139	557	1,352	1,960	3,869
比率(%)	43.2	49.6	55.7	56.1	59.5	55.2	35.0	56.0	69.6	56.7

(3 - 11)教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0
市町村 設置	63	32	15.2	179	84.8	211	100
計	63	32	15.2	179	84.8	211	100

4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

(4-1) 高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数										
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	124,665	1,758	1.41	20	0.02	600	0.48	904	0.73	3,282	2.63	
内 訳	1 年 生	35,334	392	1.11	2	0.01	110	0.31	103	0.29	607	1.72
	2 年 生	33,485	453	1.35	1	0.00	142	0.42	145	0.43	741	2.21
	3 年 生	31,544	387	1.23	6	0.02	222	0.70	278	0.88	893	2.83
	単 位 制	24,302	526	2.16	11	0.05	126	0.52	378	1.56	1,041	4.28
定 時 制	9,338	1,535	16.44	305	3.27	182	1.95	1,660	17.78	3,682	39.43	
内 訳	1 年 生	1,329	237	17.83	39	2.93	30	2.26	180	13.54	486	36.57
	2 年 生	1,162	120	10.33	50	4.30	9	0.77	137	11.79	316	27.19
	3 年 生	993	113	11.38	71	7.15	17	1.71	140	14.10	341	34.34
	4 年 生	732	52	7.10	37	5.05	24	3.28	65	8.88	178	24.32
	単 位 制	5,122	1,013	19.78	108	2.11	102	1.99	1,138	22.22	2,361	46.10
計	134,003	3,293	2.46	325	0.24	782	0.58	2,564	1.91	6,964	5.20	
内 訳	1 年 生	36,663	629	1.72	41	0.11	140	0.38	283	0.77	1,093	2.98
	2 年 生	34,647	573	1.65	51	0.15	151	0.44	282	0.81	1,057	3.05
	3 年 生	32,537	500	1.54	77	0.24	239	0.73	418	1.28	1,234	3.79
	4 年 生	732	52	7.10	37	5.05	24	3.28	65	8.88	178	24.32
	単 位 制	29,424	1,539	5.23	119	0.40	228	0.77	1,516	5.15	3,402	11.56

(注1)在籍者数は、平成25年5月1日現在

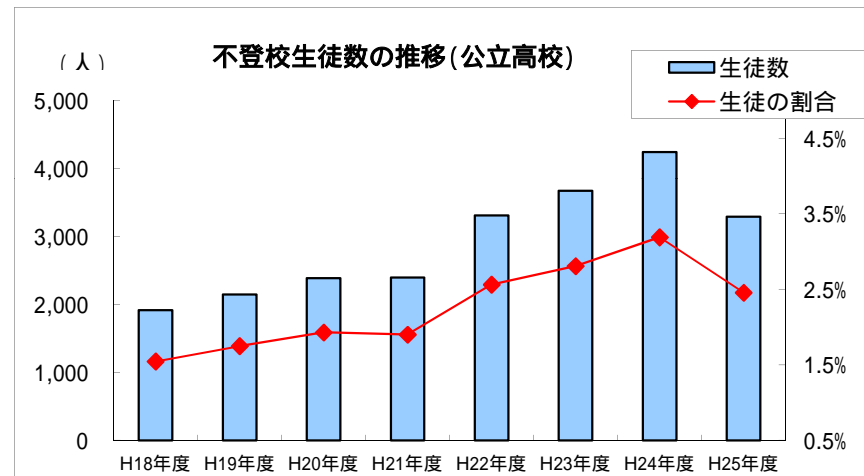
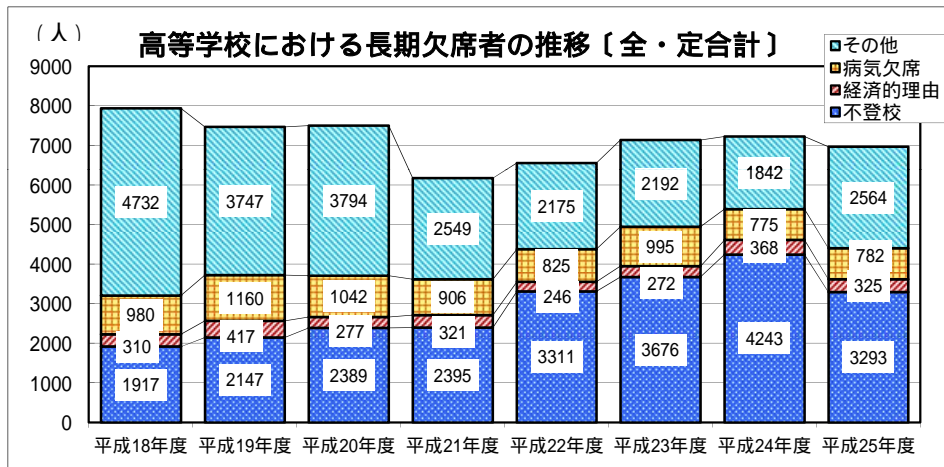
(注2)本調査における「不登校」については、学校基本調査の小中学校における理由別長期欠席者数において、「不登校」(=何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、「病気や「経済的な理由」によるものを除く。))に該当するものを計上している。

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

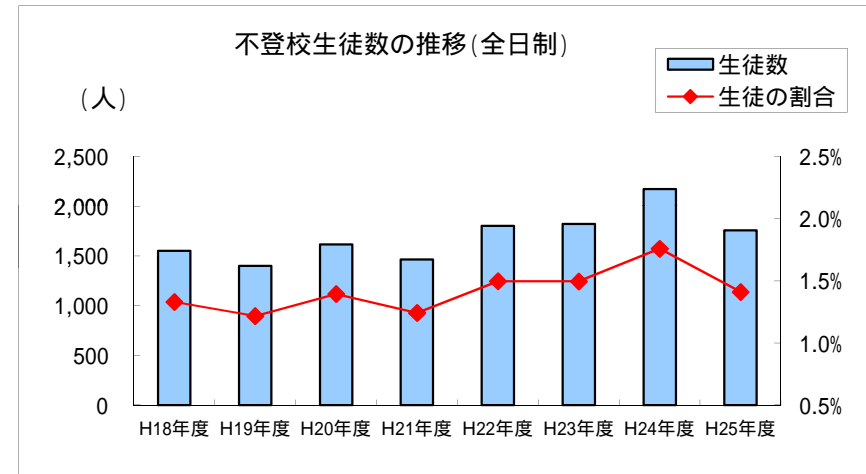
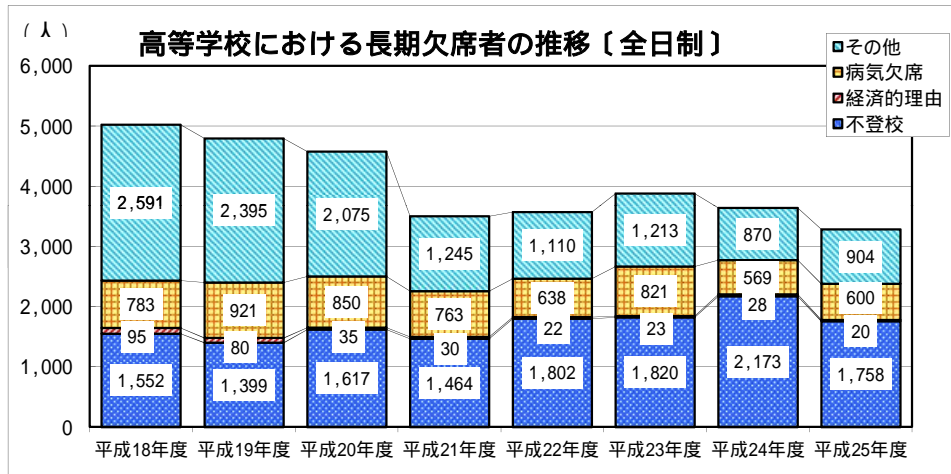
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
18年度	123,992	1,917	1.55	0.24	310	0.25	0.07	980	0.79	0.02	4,732	3.82	0.69	7,939	6.40	0.54
19年度	122,709	2,147	1.75	0.20	417	0.34	0.09	1,160	0.95	0.15	3,747	3.05	0.76	7,471	6.09	0.31
20年度	123,763	2,389	1.93	0.18	277	0.22	0.12	1,042	0.84	0.10	3,794	3.07	0.01	7,502	6.06	0.03
21年度	125,938	2,395	1.90	0.03	321	0.25	0.03	906	0.72	0.12	2,549	2.02	1.04	6,171	4.90	1.16
22年度	129,122	3,311	2.56	0.66	246	0.19	0.06	825	0.64	0.08	2,175	1.68	0.34	6,557	5.08	0.18
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	0.18	1,842	1.39	0.29	7,228	5.44	0.01
25年度	134,003	3,293	2.46	0.73	325	0.24	0.03	782	0.58	0.001	2,564	1.91	0.53	6,964	5.20	0.24



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
不登校	1,917	2,147	2,389	2,395	3,311	3,676	4,243	3,293
(出現率) <%>	1.55	1.75	1.93	1.90	2.56	2.81	3.19	2.46
経済的理由	310	417	277	321	246	272	368	325
病気	980	1,160	1,042	906	825	995	775	782
その他	4,732	3,747	3,794	2,549	2,175	2,192	1,842	2,564
長期欠席合計	7,939	7,471	7,502	6,171	6,557	7,135	7,228	6,964
(出現率) <%>	6.40	6.09	6.06	4.90	5.08	5.45	5.44	5.20
全校生徒数	123,992	122,709	123,763	125,938	129,122	130,846	132,959	134,003
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	24.15	28.74	31.84	38.81	50.50	51.52	58.70	47.29

イ 公立高等学校全日課程

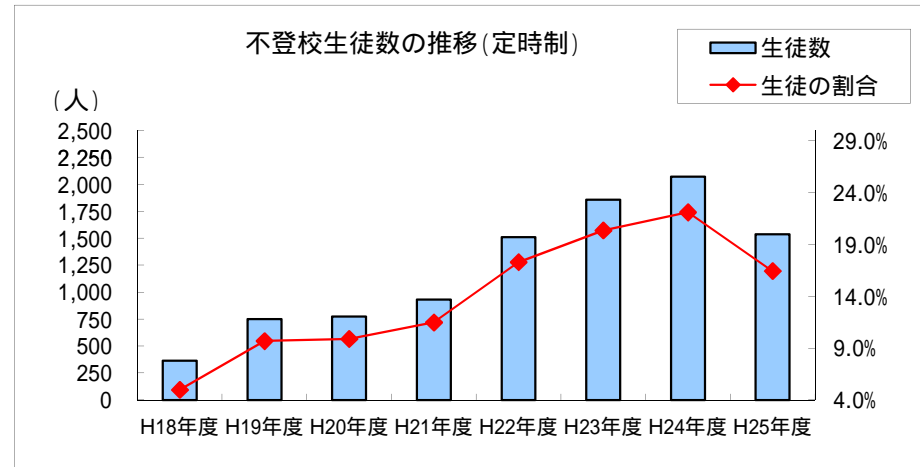
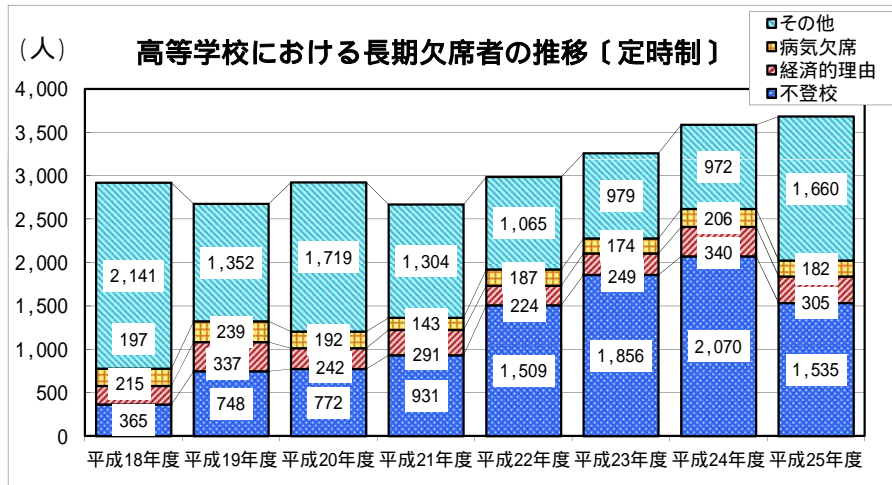
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
18年度	116,661	1,552	1.33	0.10	95	0.08	0.04	783	0.67	0.03	2,591	2.22	0.34	5,021	4.30	0.26
19年度	114,986	1,399	1.22	0.11	80	0.07	0.01	921	0.80	0.13	2,395	2.08	0.14	4,795	4.17	0.13
20年度	115,954	1,617	1.39	0.18	35	0.03	0.04	850	0.73	0.07	2,075	1.79	0.29	4,577	3.95	0.22
21年度	117,823	1,464	1.24	0.15	30	0.03	0.00	763	0.65	0.09	1,245	1.06	0.73	3,502	2.97	0.97
22年度	120,396	1,802	1.50	0.25	22	0.02	0.01	638	0.53	0.12	1,110	0.92	0.13	3,572	2.97	0.00
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	0.21	870	0.70	0.30	3,640	2.95	0.23
25年度	124,665	1,758	1.41	0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.02	3,282	2.63	0.32



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
不登校	1,552	1,399	1,617	1,464	1,802	1,820	2,173	1,758
(出現率) <%>	1.33	1.22	1.39	1.24	1.50	1.50	1.76	1.41
経済的理由	95	80	35	30	22	23	28	20
病気	783	921	850	763	638	821	569	600
その他	2,591	2,395	2,075	1,245	1,110	1,213	870	904
長期欠席合計	5,021	4,795	4,577	3,502	3,572	3,877	3,640	3,282
(出現率) <%>	4.30	4.17	3.95	2.97	2.97	3.18	2.95	2.63
全校生徒数	116,661	114,986	115,954	117,823	120,396	121,729	123,593	124,665
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	30.91	29.18	35.33	41.80	50.45	46.94	59.70	53.56

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
18年度	7,331	365	4.98	2.92	215	2.93	0.38	197	2.69	0.76	2,141	29.20	4.86	2,918	39.80	3.08
19年度	7,723	748	9.69	4.71	337	4.36	1.43	239	3.09	0.41	1,352	17.51	11.70	2,676	34.65	5.15
20年度	7,809	772	9.89	0.20	242	3.10	1.26	192	2.46	0.64	1,719	22.01	4.51	2,925	37.46	2.81
21年度	8,115	931	11.47	1.59	291	3.59	0.49	143	1.76	0.70	1,304	16.07	5.94	2,669	32.89	4.57
22年度	8,726	1,509	17.29	5.82	224	2.57	1.02	187	2.14	0.38	1,065	12.20	3.86	2,985	34.21	1.32
23年度	9,117	1,856	20.36	3.07	249	2.73	0.16	174	1.91	0.23	979	10.74	1.46	3,258	35.74	1.53
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	0.36	3,588	38.30	2.56
25年度	9,338	1,535	16.44	5.66	305	3.27	0.36	182	1.95	0.25	1,660	17.78	7.40	3,682	39.43	1.13



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
不登校 (出現率) <%>	365 4.98	748 9.69	772 9.89	931 11.47	1,509 17.29	1,856 20.36	2,070 22.10	1,535 16.44
経済的理由	215	337	242	291	224	249	340	305
病気	197	239	192	143	187	174	206	182
その他	2,141	1,352	1,719	1,304	1,065	979	972	1,660
長期欠席合計 (出現率) <%>	2,918 39.30	2,676 34.65	2,925 37.46	2,669 32.89	2,985 34.21	3,258 35.74	3,588 38.31	3,682 39.43
全校生徒数	7,331	7,723	7,809	8,115	8,726	9,117	9,366	9,338
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	12.51	27.95	26.39	34.88	50.55	56.97	57.69	41.69

(4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全日制	不登校生徒数	392	-	453	-	387	-	-	-	526	-	1,758	-
	うち 前年度から継続	43	11.0	128	28.3	143	37.0	-	-	209	39.7	523	29.7
	うち その他	82	20.9	12	2.6	5	1.3	-	-	59	11.2	158	9.0
定時制	不登校生徒数	237	-	120	-	113	-	52	-	1,013	-	1,535	-
	うち 前年度から継続	25	10.5	58	48.3	58	51.3	42	80.8	536	52.9	719	46.8
	うち その他	8	3.4	2	1.7	0	0.0	0	0.0	209	20.6	219	14.3
計	不登校生徒数	629	-	573	-	500	-	52	-	1,539	-	3,293	-
	うち 前年度から継続	68	10.8	186	32.5	201	40.2	42	80.8	745	48.4	1,242	37.7
	うち その他	90	14.3	14	2.4	5	1.0	0	0.0	268	17.4	377	11.4

(注1) 構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(注2) 「その他」には、不登校生徒のうち前年度の状況が確認できなかった者を計上

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	(%)	生徒数	(%)	生徒数	(%)
不登校生徒数	1,758	-	1,535	-	3,293	-
うち中途退学に至った者	410	23.3	383	25.0	793	24.1
うち原級留置に至った者	124	6.8	169	11.0	293	8.9

(注) 印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4) 不登校になったきっかけと考えられる状況

区分	全日制		定時制		計		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
学校に係る状況	644	36.6	338	22.0	982	29.8	
内訳	いじめ	6	0.3	0	0.0	6	0.2
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	195	11.1	131	8.5	326	9.9
	教職員との関係をめぐる問題	6	0.3	10	0.7	16	0.5
	学業の不振	191	10.9	88	5.7	279	8.5
	進路にかかる不安	77	4.4	16	1.0	93	2.8
	クラブ活動、部活動等への不適応	30	1.7	10	0.7	40	1.2
	学校のきまり等をめぐる問題	25	1.4	13	0.8	38	1.2
	入学、転編入学、進級時の不適応	114	6.5	70	4.6	184	5.6
家庭に係る状況	256	14.6	218	14.2	474	14.4	
内訳	家庭の生活環境の急激な変化	89	5.1	90	5.9	179	5.4
	親子関係をめぐる問題	111	6.3	72	4.7	183	5.6
	家庭内の不和	56	3.2	56	3.6	112	3.4
本人に係る状況	1,416	80.5	1,412	92.0	2,828	85.9	
内訳	病気による欠席	122	6.9	54	3.5	176	5.3
	あそび・非行	243	13.8	462	30.1	705	21.4
	無気力	717	40.8	612	39.9	1,329	40.4
	不安など情緒的混乱	228	13.0	109	7.1	337	10.2
	意図的な拒否	90	5.1	106	6.9	196	6.0
	その他本人に関わる問題	16	0.9	69	4.5	85	2.6
その他	16	0.9	83	5.4	99	3.0	
不明	76	4.3	74	4.8	150	4.6	

不登校生徒数	(全日)	1,758	(定時)	1,535	(計)	3,293
--------	------	-------	------	-------	-----	-------

(注1)複数回答可(複数回答のため、人数の合計は不登校生徒数と合わない)

(注2)パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合(複数回答のため、割合の合計は100%を超える)

(4-5) 不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制				(2)定時制				計			
	人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制		人数(人)	割合(%)	うち、単位制	
			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)			人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	352	20.0	79	15.0	206	13.4	143	14.1	558	16.9	222	14.4
指導中の生徒	1,406	80.0	447	85.0	1,329	86.6	870	85.9	2,735	83.1	1,317	85.6
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	354	20.1	100	19.0	378	24.6	264	26.1	732	22.3	364	23.7
計	1,758	100.0	526	100.0	1,535	100.0	1,013	100.0	3,293	100.0	1,539	100.0

(4-6)4-5の「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」に特に効果のあった学校の措置

(単位/校)

区分	(1)全日制		(2)定時制	
		うち、単位制		うち、単位制
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った。	11	1	5	3
全ての教師が当該生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった。	12	3	9	4
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった。	18	5	4	2
養護教諭が専門的に指導にあたった。	26	6	9	6
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった。	35	9	11	5
友人関係を改善するための指導を行った。	18	2	5	2
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した。	24	7	9	5
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った。	11	2	5	2
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した。	11	4	3	1
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった。	18	4	5	4
登校を促すため、電話をかけたたり迎えに行くなどした。	34	6	9	5
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った。	12	4	4	2
保護者の協力を求めて、家庭関係や家庭生活の改善を図った。	29	5	11	7
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった。	10	1	3	2
病院等の医療機関と連携して指導にあたった。	9	4	3	2
その他	2	1	2	2

(注)複数回答を可とする。

(4-7) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱った人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱った人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱った人数(B)		(B)/(A) (%)		
	うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		うち 単位制		
学校外	(1) ~ の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	251	57	1	0	62	46	0	0	313	103	9.51	3.13	1	0	0.32	0.00
	教育支援センター(適応指導教室)	20	4	0	0	4	4	0	0	24	8	0.73	0.24	0	0	0.00	0.00
	教育センター等教育委員会所管の機関(を除く)	26	3	1	0	4	4	0	0	30	7	0.91	0.21	0	0	0.00	0.00
	児童相談所、福祉事務所	38	15	0	0	15	14	0	0	53	29	1.61	0.88	0	0	0.00	0.00
	保健所、精神福祉保健センター	4	1	0	0	2	2	0	0	6	3	0.18	0.09	0	0	0.00	0.00
	病院、診療所	161	34	0	0	29	22	0	0	190	56	5.77	1.70	0	0	0.00	0.00
	民間団体、民間施設	9	1	0	0	3	3	0	0	12	4	0.36	0.12	0	0	0.00	0.00
	上記以外の機関等	10	1	0	0	8	6	0	0	18	7	0.55	0.21	0	0	0.00	0.00
(2) ~ の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,302	407	-	-	1,185	843	-	-	2,487	1,250	75.52	37.96	-	-	-	-	
(3) 不明(実数)	205	62	-	-	288	124	-	-	493	186	14.97	5.65	-	-	-	-	
(4) (1)~(3)の合計	1,758	526	-	-	1,535	1,013	-	-	3,293	1,539	100.00	46.74	-	-	-	-	
学校内	(5) . による相談・指導等を受けた人数(実数)	528	107	-	-	220	145	-	-	748	252	22.71	7.65	-	-	-	-
	養護教諭による専門的な指導を受けた人数	540	74	-	-	191	125	-	-	731	199	24.48	6.04	-	-	-	-
	スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	276	69	-	-	52	31	-	-	328	100	9.96	3.04	-	-	-	-
	(6) . による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,230	419	-	-	1,315	868	-	-	2,545	1,287	77.29	39.09	-	-	-	-
(7) (5)~(6)の合計	1,758	526	-	-	1,535	1,013	-	-	3,293	1,539	100.00	46.74	-	-	-	-	
(8) 上記 ~ , . による相談・指導等を受けていない人数	1,017	351	-	-	1,094	742	-	-	2,111	1,093	64.11	33.19	-	-	-	-	

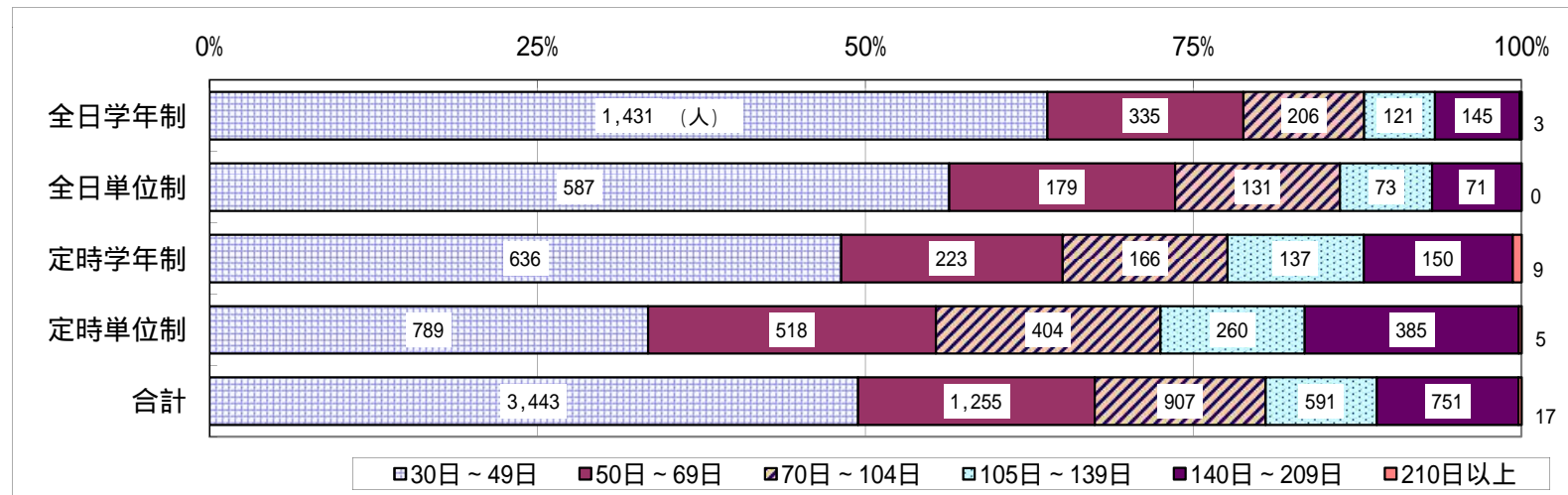
(注1) ~ 、 、 は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4 - 8) 欠席日数別長期欠席生徒の状況

区分	長期欠席生徒数	欠席日数												
		30日～49日		50日～69日		70日～104日		105日～139日		140日～209日		210日以上		
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
全 日 制	3,282	2,018	61.49	514	15.66	337	10.27	194	5.91	216	6.58	3	0.09	
内 訳	1 年 生	607	314	51.73	104	17.13	78	12.85	52	8.57	57	9.39	2	0.33
	2 年 生	741	420	56.68	130	17.54	79	10.66	48	6.48	63	8.50	1	0.13
	3 年 生	893	697	78.05	101	11.31	49	5.49	21	2.35	25	2.80	0	0.00
	単 位 制	1,041	587	56.39	179	17.20	131	12.58	73	7.01	71	6.82	0	0.00
定 時 制	3,682	1,425	38.70	741	20.12	570	15.48	397	10.78	535	14.53	14	0.38	
内 訳	1 年 生	486	180	37.04	79	16.26	75	15.43	74	15.23	71	14.61	7	1.44
	2 年 生	316	148	46.84	59	18.67	39	12.34	27	8.54	41	12.97	2	0.63
	3 年 生	341	192	56.30	55	16.13	41	12.02	24	7.04	29	8.50	0	0.00
	4 年 生	178	116	65.17	30	16.85	11	6.18	12	6.74	9	5.06	0	0.00
	単 位 制	2,361	789	33.42	518	21.94	404	17.11	260	11.01	385	16.31	5	0.21
計	6,964	3,443	49.44	1,255	18.02	907	13.02	591	8.49	751	10.78	17	0.24	
内 訳	1 年 生	1,093	494	45.20	183	16.74	153	14.00	126	11.53	128	11.71	9	0.82
	2 年 生	1,227	568	46.29	189	15.40	118	9.62	75	6.11	104	8.48	3	0.24
	3 年 生	1,234	889	72.04	156	12.64	90	7.29	45	3.65	54	4.38	0	0.00
	4 年 生	178	116	65.17	30	16.85	11	6.18	12	6.74	9	5.06	0	0.00
	単 位 制	3,402	1,376	40.45	697	20.49	535	15.73	333	9.79	456	13.40	5	0.15

(注)パーセンテージは、各区分における長期欠席生徒数に対する割合



5 中途退学者等の状況【公立高等学校】

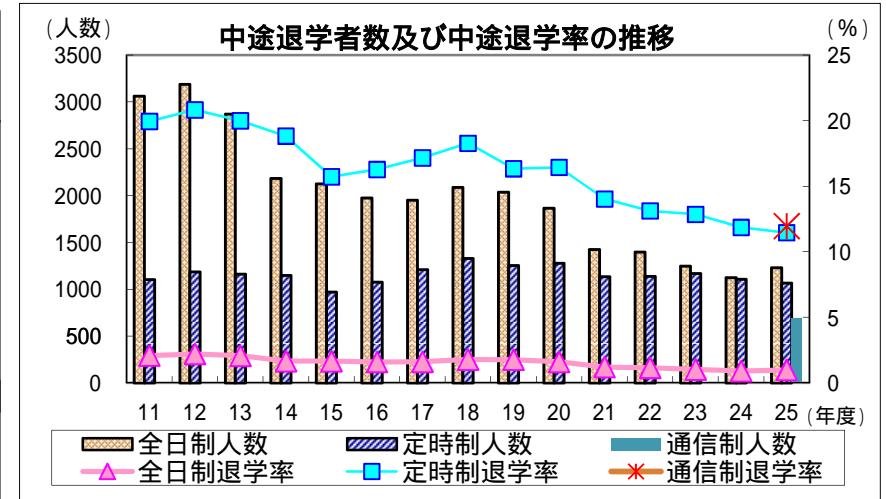
(5 - 1) 課程・学年別中途退学者数

区分	全日制					定時制						通信制	合計	合計
	1年生	2年生	3年生	単位制	計	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	計	単位制	計	
中途退学者数	409	369	106	346	1,230	288	140	77	31	531	1,067	692	692	2,989

(参考)

中途退学者数及び中途退学率の推移

区分	全日制			定時制		
	人数	中途退学率	増減(p)	人数	中途退学率	増減(p)
平成11年度	3,061	2.09	0.18	1,104	19.95	0.63
平成12年度	3,188	2.21	0.12	1,187	20.83	0.88
平成13年度	2,871	2.07	0.14	1,162	20.00	0.83
平成14年度	2,185	1.67	0.40	1,150	18.83	1.17
平成15年度	2,125	1.67	0.00	971	15.72	3.11
平成16年度	1,976	1.60	0.07	1,078	16.28	0.56
平成17年度	1,952	1.62	0.02	1,209	17.16	0.88
平成18年度	2,089	1.79	0.17	1,331	18.28	1.12
平成19年度	2,036	1.77	0.02	1,255	16.34	1.94
平成20年度	1,865	1.61	0.16	1,279	16.44	0.10
平成21年度	1,426	1.21	0.40	1,134	14.03	2.41
平成22年度	1,398	1.16	0.05	1,139	13.12	0.91
平成23年度	1,247	1.03	0.13	1,169	12.85	0.27
平成24年度	1,125	0.91	0.12	1,109	11.86	0.99
平成25年度	1,230	0.99	0.08	1,067	11.46	0.40



通信制		
人数	中途退学率	増減
692	11.96	-

(注1)中途退学率は、平成25年4月1日現在の在籍数に占める中途退学者数の割合

(注2)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	119	9.7	27	2.5	1	0.1
学校生活・学業不適応	365	29.7	337	31.6	11	1.6
もともと高校生活に熱意がない	122	9.9	158	14.8	4	0.6
授業に興味がない	80	6.5	62	5.8	1	0.1
人間関係がうまく保てない	73	5.9	34	3.2	1	0.1
学校の雰囲気が合わない	48	3.9	22	2.1	5	0.7
その他	42	3.4	61	5.7	0	0.0
進路変更	580	47.2	353	33.1	90	13.0
別の高校への入学を希望	122	9.9	51	4.8	22	3.2
専修・各種学校への入学を希望	12	1.0	15	1.4	10	1.4
就職を希望	177	14.4	162	15.2	27	3.9
高卒程度認定試験を受験希望	120	9.8	21	2.0	11	1.6
その他	149	12.1	104	9.7	20	2.9
病気・けが・死亡	46	3.7	18	1.7	4	0.6
経済的理由	3	0.2	5	0.5	10	1.4
家庭の事情	45	3.7	91	8.5	1	0.1
問題行動等	17	1.4	4	0.4	3	0.4
その他の理由	55	4.5	232	21.7	572	82.7
定時制のみ						
仕事の多忙	-	-	154	14.4	0	0.0
勤務先の事情	-	-	17	1.6	2	0.3
その他	55	4.5	61	5.7	570	82.4
中途退学者数	1,230	100.0	1,067	100.0	692	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5 - 3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
授業料減免を受けていた者	0	0.0	1	20.0	0	0.0
奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
授業料の滞納があった者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上記のいずれかにも該当しない者	3	100.0	4	80.0	10	100.0
経済的理由による中途退学者数	3	100.0	5	100.0	10	100.0

(注1) ~ については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	315	1.04	94	2.02	-	-	288	21.64	-	-	697	1.92
2 年 生	278	0.97	91	2.03	-	-	140	12.20	-	-	509	1.48
3 年 生	80	0.29	26	0.60	-	-	77	7.83	-	-	183	0.56
4 年 生	-	-	-	-	-	-	31	4.24	-	-	31	4.24
単 位 制	173	1.51	25	0.66	148	1.53	531	10.38	692	11.96	1,569	4.37
合 計	846	0.87	236	1.37	148	1.53	1,067	11.39	692	11.96	2,989	2.14

(注)割合は、平成25年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
2 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3 年 生	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
4 年 生	-	-	-	-	-	-	0	0.00	-	-	0	0.00
単 位 制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合 計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1 年 生	81	0.27	31	0.67	0	0.00	115	8.64	0	0.00	227	0.62
2 年 生	62	0.22	15	0.34	0	0.00	58	5.05	0	0.00	135	0.39
3 年 生	18	0.07	2	0.05	0	0.00	43	4.37	0	0.00	63	0.19
4 年 生	-	-	-	-	-	-	8	1.09	-	-	8	1.09
単 位 制	1	0.01	0	0.00	1	0.01	78	1.52	0	0.00	80	0.22
合 計	162	0.17	48	0.28	1	0.01	302	3.24	0	0.00	513	0.37

(注1)原級留置者とは、平成26年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、平成26年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	0	0	0	0	0	0
2 年 生	0	0	0	6	0	6
3 年 生	0	0	0	4	0	4
4 年 生	-	-	-	1	0	1
単 位 制	0	0	0	6	3	9
合計	0	0	0	17	3	20

(注)再入学者とは、平成25年度以前に高等学校を退学した者で、退学したとき同一の学校の同一課程・学科に平成25年度中に入学した者をいう。

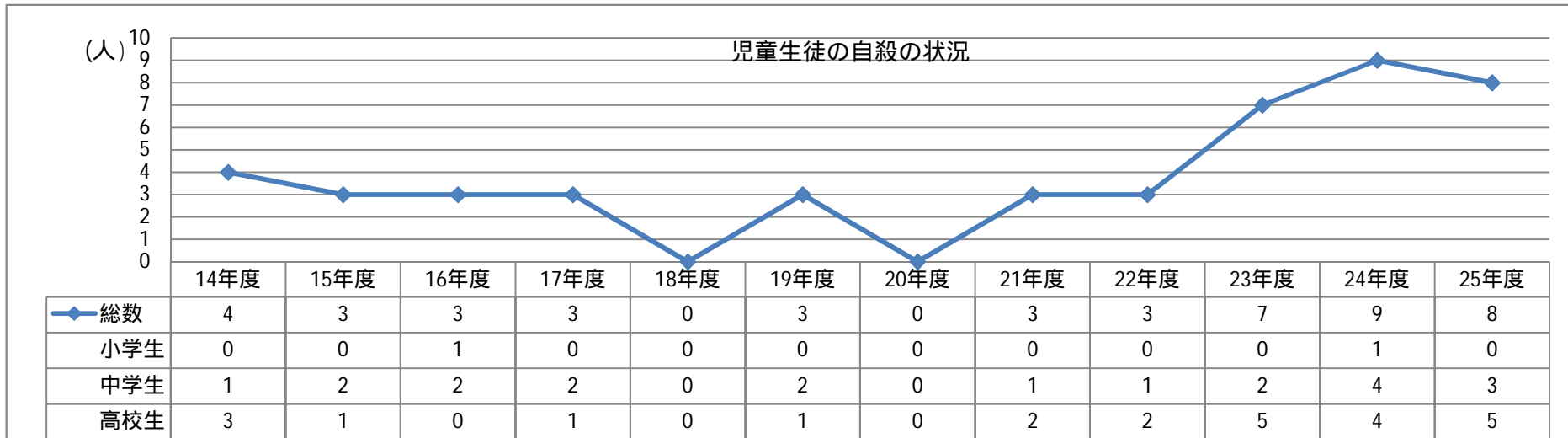
(5 - 8) 編入学者数

区分	全日制			定時制	通信制	合計
	普通科	専門学科	総合学科			
1 年 生	1	0	0	0	0	1
2 年 生	0	0	0	13	0	13
3 年 生	0	0	0	5	0	5
4 年 生	-	-	-	1	0	1
単 位 制	20	0	0	13	110	143
合計	21	0	0	32	110	163

(注)編入学者とは、平成25年度以前に高等学校を退学した者で、いずれかの高等学校に平成25年度中に入学した者の中から、「(5 - 7) 課程・学科・学年別再入学者数」を除いた者をいう。

6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

(6-1) 児童・生徒の自殺の状況



(6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学生				高校生				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	2	5	7
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	1	2	5	8

(6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
家庭不和	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
父母等のしっ責	0	-	0	0.0	1	20.0	1	12.5
学業不振	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	-	0	0.0	1	20.0	1	12.5
教職員との関係での悩み	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	-	1	33.3	0	0.0	1	12.5
病弱等による悲観	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	0	-	2	66.7	3	60.0	5	62.5
その他	0	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注1)複数回答を可とする。(注2)構成比は、各区分における自殺した児童・生徒数に対する割合。

7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1)出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
平成25年度	0	0	0

(7-2)出席停止の学年別・男女別件数

区分	学年別件数											合計		
	小学校						中学校				合計			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生			計	
平成25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

男女別件数			
区分	小学校	中学校	計
男子	0	0	0
女子	0	0	0

(7-3)出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4)出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

（8 - 1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・教育研究所	2	17 (8.5)	53 (26.5)	70 (35.0)
教育相談所・相談室	6	14 (2.3)	122 (20.3)	136 (22.7)

(注1)()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

（8 - 2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
教育センター・教育研究所	1,566	2,696	10	0	4,272
教育相談所・相談室	2,037	2,630	92	10,648	15,407
計	3,603	5,326	102	10,648	19,679

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

（8 - 3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・教育研究所での来所教育相談件数(A)	423	278	72	793	1,566
教育相談所・相談室での来所教育相談件数(B)	928	807	230	72	2,037
来所教育相談総件数(AとBの合計)	1,351	1,085	302	865	3,603
うち、いじめに関する教育相談件数	32	16	6	36	90
うち、不登校に関する教育相談件数	638	717	210	773	2,338

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計	
教育相談件数	電話相談	1,364	1,305	1,162	1,495	5,326	
	訪問相談	42	54	1	5	102	
	巡回相談	6,061	3,511	851	225	10,648	
内数	いじめに関する相談	電話相談	452	388	169	553	1,562
		訪問相談	0	0	0	0	0
		巡回相談	59	43	1	0	103
	不登校に関する相談	電話相談	289	482	623	240	1,634
		訪問相談	36	46	1	5	88
		巡回相談	1,334	1,846	8	0	3,188

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8 - 5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	60
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	19	141	160
構成比(%)	11.9	88.1	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	0.3	2.4	2.7

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	20,891	10,754	3,151	3,312	38,108

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。